

交流楽しむホテル開業

ロビーバー コワーキングスペース

エントランスの吹き抜け空間の中央に配置された「ロビーバー」。ホテル利用者の交流を促す場所と位置付ける
＝福岡市博多区



福岡市博多区中洲

宿泊だけでなく利用者同士の交流や施設内で過ごす時間を重視する「ライフスタイル型ホテル」を展開するグローバルエージェンツ（東京）は、福岡市博多区中洲に新ホテル「THE L IVE L Y（ザ・ライフリー）福岡」を開業した。九州への進出は初めて。外国人旅行者や、体験型の「コト消費」の需要を狙う。

同社は既存の建造物を再生し、東京や北海道で8棟のホテルを運営。ザ・ライフリーはホテル事業の旗艦ブランドと位置付ける。福岡は第1号で、旧IPシティホテルの所有者から運営権を受託し、建物を全面改装した。

1、2階を吹き抜けにし、中央に「ロビーバー」を配置したのが大きな特徴。宿泊客以外もバーを利用でき、週末にはDJを交えたイベントも開催。開放的な空間の中で多様な交流を促す。2階には多目的のホールや、仕事や事務作業に使えるコワーキングスペースを設けた。客室数は224室で平均宿泊料は1泊1万2千円前後を想定する。

3階には、同社の別ブランドのカプセルホテル「ザ・ミレニアルズ」も入る。「ホテル・イン・ホテル」という珍しい業態という。3平方メートルの客室にリクライニングベッドを配置し、専用端末でベッドの角度や照明を操作する。114室あり、平均宿泊料は5千円前後。

（石田剛）